

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日(治療前日)	治療1日目	治療2日目	治療3日目
目標	心身ともに安定した状態で治療を迎えることができる 治療の流れや注意点が理解できる 副作用症状が最小限で経過する 感染、出血予防行動、貧血時の注意行動ができる 治療の流れや注意点が理解できる			
検査	身長体重を測ります 採血、心電図、胸部レントゲン、心エコーがあります 	 採血は状況に応じて適宜行います		
食事	朝食は自宅  	  	  	  
処置・観察	入院時リストバンドを装着します (退院日まで装着します)  体温、脈拍、血圧、酸素飽和度を測ります	点滴前に留置針を挿入します 点滴が終了しても針は残しておきます (PICC 挿入されている方はPICC から点滴投与します)		
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	 以下の点滴を行います(約6時間) 1) 生理食塩液 2) 制吐剤(1と同時滴下) 3) 抗アレルギー剤(1と同時滴下) 4) ガザイバ(1と同時滴下) ※ガザイバ投与時、寒気や息苦しさ等あれば申し出てください	 以下の点滴を行います(約1時間半) 1) 制吐剤 2) トレアキシン 3) 生理食塩液 ※トレアキシン投与時、血管痛がある場合は申し出てください	 以下の点滴を行います(約1時間半) 1) 制吐剤 2) トレアキシン 3) 生理食塩液 ※トレアキシン投与時、血管痛がある場合は申し出てください
行動	 制限はありません シャワーできます(週3回) ※病棟により異なります  手洗い、うがいは1日最低8回行ってください (起床時、毎食前後、就寝前) 口内炎、舌の荒れがひどくなるようでしたらお申し出ください 治療を行うと全身が乾燥するため保湿剤を塗布してください(市販で保湿剤購入)	点滴中は安静にお過ごしください		
説明	 医師より説明(外来または入院時) ・治療計画について ・化学療法について  看護師より説明 ・入院生活について ・化学療法について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 看護師より説明 ・点滴投与中の注意点について 3回目(治療15日目)のガザイバ投与は外来化学療法室で行います 入院中に外来化学療法のオリエンテーションを行います(受診の仕方、点滴の流れについて)日時を確認してください 外来オリエンテーション日【 月 日 時 分】 持参：化学療法パンフレット		

\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日 ~ 月 日	月 日	月 日 ~ 月 日	月 日
経過	治療 4 ~ 7 日目	治療 8 日目	治療 9 ~ 11 日目	退院日
目標	副作用症状が最小限で経過する 感染、出血予防行動、貧血時の注意行動ができる 治療の流れや注意点が理解できる			退院ができる 感染、出血予防行動、貧血時の注意行動ができる
検査	 採血は状況に応じて適宜行います			
食事	  			朝食後退院です
処置・観察	 体温、脈拍、血圧、酸素飽和度を測ります			点滴前に留置針を挿入します 点滴が終了後針を抜去します (PICC 挿入されている方は PICC から点滴投与します) 退院時リストバンドを外します
点滴・内服	 以下の点滴を行います (約 6 時間) 1) 生理食塩液 2) 制吐剤 (1 と同時滴下) 3) 抗アレルギー剤 (1 と同時滴下) 4) ガザイバ (1 と同時滴下) ※ガザイバ投与時、寒気や息苦しさ等あれば申し出てください			
行動	 制限はありません シャワーできます (週 3 回) ※病棟により異なります  手洗い、うがいは 1 日最低 8 回行ってください (起床時、毎食前後、就寝前) 口内炎、舌の荒れがひどくなるようでしたらお申し出ください 治療を行うと全身が乾燥するため保湿剤を塗布してください			 制限はありません  制限はありません
説明	 看護師より説明 ・点滴投与中の注意点について			 医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします) ・次回入院の申し込み手続きについて ・PICC 挿入中の方は自宅での入浴の仕方、次回受診時の採血・処置の仕方について ・ガザイバ投与 3 回目の外来化学療法を受診の仕方について